

## 第9回水道ビジョン検討会 議事概要

1. 日 時：平成 16 年 5 月 24 日（月）15:00～17:00
2. 場 所：経済産業省別館 825 号会議室
3. 出席委員：  
赤川委員、足立委員、伊藤委員、磐城委員、小笠原委員、小島委員、藤原委員、古米委員、前田委員、眞柄委員、森竹委員、和田委員
4. 議事次第
  - (1) 第8回検討会の議事概要について
  - (2) 水道ビジョン（案）に対する主な意見への対応について
  - (3) 水道ビジョン（案）について
  - (4) その他
5. 議事概要
  - (1) 第8回検討会の議事概要について  
事務局から提出された資料について確認した。
  - (2) 水道ビジョン（案）に対する主な意見への対応について  
説明省略。
  - (3) 水道ビジョン（案）について  
事務局から提出された資料について説明がなされ、(2)(3)合わせて資料に関する質疑および議論がなされた。その主な意見は以下の通りである。
    - ・文章での「カタカナ」は極力避けるべきである。例えば、「コミュニケーション」は「対話」や「会話」と記述されている個所もある。
    - ・リスクコミュニケーションについては、「情報公開だけでなく公開によって歩み寄る」など、一過型ではない旨がわかる記述としなければ意見提出者の満足を得られないのではないか。
    - ・「運営」と「経営」が明確に使い分けられているのかが疑問である。適切に言葉の使い分けをすべきである。
    - ・異臭味、鉛など5年後に半減、早期のゼロ達成という目標について、新水質基準との整合性、達成可能性をどう考えているのか。
    - ・水道基本問題検討会でも広域化を提起していたが、水道法改正まで行っているのにも

かかわらず検証がなされていない。広域化の施策誘導まで踏み込まないと進まないと考える。

- ・水道事業は水道事業者の意思決定で進められるので、ビジョンの実現には水道事業者がどのように取り組んでくれるのがポイントとなる。本ビジョンが、水道事業者のビジョン策定に利用されていけばよい。
- ・図 8-1 での短期的対応の3年の記述は、どのようにして達成するのかの記述も必要と考える。

#### (4) その他

- ・今回のビジョン検討会に基づいて修正した「水道ビジョン」の最終確認は眞柄座長に一任する。
- ・「水道ビジョン」は6月の水道週間に発表する。